2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
環境生態系分野	法医学特論Ⅰ・Ⅲ	三浦 雅布

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

講義と演習を通して，法医診断に必要な知識や剖検手技を，また研究に必要な思考過程・知識・技術を習得し，併せて法医学における実務と研究との関係の在り方を身につける。また，法医学専門家に必要不可欠な、鑑定についての心構えを養う。

授業到達目標

（1）各自の研究テーマについて，法医実務の中での意義を説明できる。
（2）法医診断に必要な法医学的知識及び他の基礎医学・臨床医学の知識を習得し，実際に法医診断を行える。
（3）基本的な剖検手技と事例に応じた剖検手技との違いを理解し，剖検の補助及び執刀を行える。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	月	11:00-12:00	三浦 雅布	講義	その他	法医診断学：法医実務に関連する法規，剖検の基本手技とその応用，解剖関連検査と検体の取扱，異状死体と死体検案，死体現象，損傷，窒息，内因性急死，中毒，異常環境下の死亡，嬰児殺，個人識別，生体の法医学，災害時の多数死体検案，鑑定書の書き方 [場所:法医学教室]
2	隔月	金	11:00-12:00	三浦 雅布 吉留 敬	講義	[抄読会]	自身の研究内容に関連する論文，または自身の研究論文の参考文献とするべき論文についての要約及び紹介 [場所:法医学教室]
3	隔月	金	11:00-12:00	三浦 雅布 吉留 敬	その他	[研究検討会]	研究結果プレゼンテーション：2 か月に一度，自身の研究の進捗状況についてプレゼンテーションを行い，今後の研究方針について指導を受けると同時に，学会発表などにおけるプレゼンテーション能力を育成する。 [場所:法医学教室]
4	その他	その他	9:00-15:00	三浦 雅布	演習	その他	剖検立会・補助：指導担当者の行う法医剖検事例に立会し，補助を行うことを通して法医剖検の手技や死体所見の観察法と解釈などを習得する。 解剖関連検査：剖検で得られた各種試料（組織・体液・体内異物など）について，法医診断に必要な各種検査（病理組織検査・臨床検査・中毒検査・珪藻検査）の補助を行い，必要な知識・技術を習得する。 [場所:法医解剖室（岡山大学），法医学教室]

岡山県警察等から死体検案の依頼があれば，指導担当者（三浦）に同行して死体発見現場や各所轄警察署等に赴き，死体検案の実際を経験するとともにその技術を習得する。またこの活動を通して多職種（警察・海上保安庁・検察など）との連携の重要さについて学ぶ。

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※1～3年生は2月末まで，4年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

講義や演習を通して質問には随時答え，提出された課題に対する討論も随時行う。

教科書

ISBN-9780340972533, Knight's forensic pathology, Pekka Saukko, Bernard Knight, CRC Press, 2015
ISBN-9784260047661, 標準法医学, 池田典昭,木下博之編, 医学書院, 2022
ISBN-0387124667, Forensic histopathology, W. Janssen ; translated by S. Forster, Springer-Verlag, 1984

参考書
ISBN-9780367251482, DiMaio's Forensic Pathology, Vincent J.M. DiMaio, D. Kimberley Molina, CRC Press, 2021
準備学習（予習・復習等）
法医学は応用医学である。法医診断は他の基礎医学や臨床医学の知識を基に行うものであり，医学部生に求められているレベルの医学知識は押さえておくこと。また，法医診断に必要な能力習得のために，講義に加えて一日当たり 30～60 分程度 Forensic histopathology を読み進め知識を補完すること。
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
法医学分野で行われる研究には，死体を主とした法医鑑定事例がその材料となることも多く，これを遂行するための高い倫理観を，講義や実務を通じて養う。さらに剖検手技を身につけることで，本邦の死因究明体制の中で法医学者として指導的役割を果たすための能力を身につける。これらにより学位に必要なディプロマポリシーを満たすことができる。
注意事項・メッセージ
医師免許を有さない学生にも，公衆衛生学的テーマなど専門知識が不十分であっても対応可能なものを検討するが，法医診断に関する基礎的な知識は研究着想のために必須であるため，積極的に習得を試みること。